

＜金標準、悪材料織り込み底張りの値動き・・・＞



(出所：オアシス)

米国中央軍は8夜連続のイランへの攻撃を終了したと発し、またイラン最高指導者の顧問は、米国による攻撃がさらに数日間続けば「イランは全面的な攻勢作戦の段階に移行する」と発言するなど、米国とイランの戦闘激化から原油価格が上昇し、金利上昇に伴うドル高の悪材料から金価格は下値模索を強めている。特に中国の金需要は6月にほぼ10年ぶりの低水準にとどまり、安価な評価が世界最大の金市場をまだ復活させていないことを示唆しているが、中国人民銀行は6月に15トンの金を購入し、中国の金準備量は2346トンに増加するなど、中国人民銀行の加速した買いは中国の金市場の継続的な弱さと対照的であり、中国の金市場の異なる部分が逆方向に動いていることを示している。特に金標準先物は、CPI、PPIやFOMCを受け早期の利上げ観測が後退するも中東情勢における原油高：金利高の悪材料で21000円に近付く、21146円まで下値を模索している。ただ21000円は強い抵抗帯であり、底固めの値動きに近く、底張りからの反転待ちと思われる。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが維持し、シグナルは切り上げている。RCIは短期が下げ止まり、長期は切り上げている。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小し、日足がレンジ離脱を示す21928円を超える様であれば、底値確認の値動きに変化すると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,275,000 円(2026 年 7 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 97,680 円(2026 年 7 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>